## 平成26年度兵庫県高等学校サッカー新人大会

準決勝 【 37 】



(一社)兵庫県サッカー協会 兵庫県高体連サッカー部

日時		201	5 年	1 月	31	В	( ±	) -	11	: 00	) :	キックス	オフ	会 墴	易	アス	スパ五′	色 メ	イングラ	ウンド	"				
天候								ッチ 天然芝・					フレー 北		<b> </b>		良好 試合形式					分 /		PK戦 有	
運営責任者		堀口 泰司		会場主任			$\overline{}$		弘樹			記録				寸 孝次 /		後藤 大輔					500	_	
主審			野上		_	副審1				啓介		_	副審2				<u>-                                    </u>		第4の審判員		15	寺岡 大韓			
	- <u> </u>		·-				kick off			<u> </u>			前半O				チーム名		73 I V II I I I I				CTIG	$\dashv$	
-		滝川第二			- 귤	三 杖	<b>交</b>						半 3	_	1		•	=	= 田		₹ 7	高 校			
					- I	رر. آ⊈						_	延前		3			_	_ ш	<del>J</del> 6					
					П								後		_	P 選手		番号							$\prod$
							O× 先		· K 戦	线		Pł	く戦	1		K 戦	先 C	×							
交代		·		シュート			選	選手名		(学年)		位置	位置	番	選	手	名	(学年)		シュ				交付	t
No.	OUT時間	延後	延前	後半	前	半				J-T-	뮹			븅				(ナー)	前半	後半	¥	延前	延後	OUT時間	_
	分		ı	<u> </u>	<u> </u>			拓都		2 年	1	GK	GK	1			英佑	2 年			_			分	_
	分			<u> </u>	-	1		大介		2年	3	DF	DF	4	前日		寛和	2年						分	_
	分			<u> </u>	-	$\dashv$	福本				( <del>1)</del>	DF	DF	5	森石		実言	2 年			_			分	-
	分			<u> </u>	-	$\dashv$		和古		2 年	2	DF	DF	26			京太	1年			_			分	_
	65 分	<u> </u>			ļ .	_		想太郎		2 年	10	DF	DF	2	田石		慎司	2年		1			$\longrightarrow$	HT 分	_
	分			2		1	枝村 結城			2年	5	MF	MF	6	佐里		成 航平	2年		1	$\dashv$		$\longrightarrow$	分	_
	48 分					$\dashv$		V 達恩 P 聖也		2年 2年	18	MF MF	MF MF	7			<u>凯平</u> ⋮沙人	2年		1	$\dashv$	<del></del>		分	_
	分 43 分					2		· 堂也 。 汰-		2 年 2 年	9 16	MF	MF	8			悠太	2 年 2 年	1		$\dashv$	$\overline{}$	$\longrightarrow$	70+1 分 分	-
	55 分				+	1	数田			2 年 2 年	7	FW	FW	10	吉瓦		<u>ぶへ</u> 表弥	2 年 2 年	1	2*	<		$\longrightarrow$	67 分	_
	分分			1	-	1	横浪			2 2 年	19	FW	FW	11	坂邦		憂太	2年	1	3*	_		$\overline{}$	分分	_
	分			· ·		_	近久			2 年	12	GK	GK	12	瀬		光宏	1年	·		Ť			分	_
10	分							龍之則		_ · 2 年	14	DF	DF	27	足工		泰	1 年						分	+
	分						畠中			_ · 2 年	13	DF	DF	3	岩井		泰晟	2 年						分	_
7	分	森勇人			1 年	75	DF	DF	22	浅坑		直也	2 年						分						
	分						蔭╽	」 拓生		2 年	6	MF	MF	16	本切		幹	1 年			T			分	+
18	分						西口	ıπ	-	2 年	11	MF	FW	20	菅村	র	季樹	1 年			Î			分	
16	分			1			溝田	大艇	₽	1 年	78	MF	FW	18	中里	野 表	恭兵	1 年						分	
	分						井上	直動	È	2 年	4	FW	FW	14	橋上	_ ;	和生	2 年						分	10
	分						本田			1 年	88	FW	FW	17	辰日	]	貴裕	2 年						分	
時間		警•退	No.	氏 名	1	事由	合計	延後 延前	後半	≠前	i¥	チー	ム合計	前	半後	半	延前 延後	合計	時間	警•退	No.	氏	名		∄曲
分							10		4		<b>3</b>			3		7		10	64 分		26		山京太		星延
	分				_		10	$\perp$	5	_	5		K	1	_	3		13	70+2 分	+	16	本地	屈 幹	<del> </del>   =	ラフ
	分				+	$\longrightarrow$	4		0		4		K	1	_	2	$\vdash$	3	分	+	Ш			+	
	分				4	ightarrow	12	$\perp$	8		4		FK	7		2		9	分	_	Н			+	
	分		<u> </u>		+	$\dashv$	0	$\dashv$	0		)		FK			1	$\vdash$	1	分	+	H			+	
<b>—</b>	分		敬生車口	<u></u> 由〕 反ス・	<u> </u>	. 思議	O 編版。	では、	O PFø#		) #		K	(		О b1	本正。	O 刊星。1	分 Dば・阻(手		h\ . <i>l</i> :	<b>年辰。</b> 草	ž O	<u> </u>	$\dashv$
	l f	時間		出」 及人・ · <b>-</b> ム		<ul><li>・ 英議</li><li>得点者</li></ul>		· 進延・ コア	_	・無力点経過			il :						フは・阻(手 き球∩・混					コート	S
		19 日	-	- Д	No.	坂井		/ 1	l1守 相手F			中央	<u>۱</u> ۰۲۰ 4	ار <i>ا</i> ر ار		<u>ں ر</u> 1	のバス ~	→・ <i>泽</i> で S	→ 11/11 · /□	比判へ・	<b>ハ</b> ラ	1 7 7	ロ・ノ	7-1	. 3
	_	51 分			11	坂井	_	<del>- 1</del>	H		<u>'</u> 3	Ψ <u>⊼</u>	11			<u>-</u> 中	S	J							
<b>%</b> E		31 分			10	吉岡	_	- Z	中央		<u> </u>	~	→	力		0	S								
得	<b>F</b>	分	_=				+	_	1 -		'			_											
ŗ.	ā 📙	分		-	++		+	_																	
糸	<sub>×</sub>	分																							
		分			$\Box$		1	_																	
追		分						_																	
		分						_																	
		分						_																	
		分						_																	
		戦評者 所属 【 県西宮・葺合 】 氏名【 石塚・谷 】													]										
		<b>∃</b> ⊞4	-4-	2、滝川二	_4-	-2-3	3 - 1	でスタ	ノート	。風	下を	選択し	ノた三	田は	FWの	力強	針いキー	-プカを	を起点にた	りウンタ	ワーを	をしかり	ナる。:	対する	5滝

三田4-4-2、滝川二4-2-3-1でスタート。風下を選択した三田はFWの力強いキープカを起点にカウンターをしかける。対する滝川二は、サイドハーフの縦の突破でチャンスをつくる。風上の滝川二が優勢にゲームを支配し前半を終える。後半に入りギアを上げた三田は39分、カウンターから⑪坂井がスピードに乗ったドリブルで滝川二ネットを揺らし先制する。リードを許した滝川二は78溝田⑪西口を突入し巻き返しをはかるが、三田の勢いは止まらず、51分三田⑪坂井がGKのタイミングを外した優れたシュート技術により追加点をあげる。風上にてリードした三田はミドルサードでの厳しいプレスから⑩吉岡にパスをつなぎ冷静にシュート、ゲームを決める。今大会に向けて最も準備期間の短い中、優れた個人技を発揮した滝川二に対し、70分を通して風向きを巧みに利用しながら力強い攻撃と献身的で力強いプレスをかけ続けた三田、準決勝に値する好ゲームであった。